

H28 妙高西条農園たより

NO. 1

平成28年4月20日 (4月号)

今年の冬は地球温暖化の影響でしょうか例年になく暖冬で豪雪地域の当農園でも最高積雪量が1mにもとどかないまま春を迎え、苗作りが始まりました。

今年の稲作りの目標は、これまでも美味しさを追求した米作りに取り組んできましたが、更に食味向上にむけ秋の耕耘前に鶏糞、米糠、籾殻燐炭をすき込み、今回新型のトラクターで春の耕耘前に鶏糞、米糠、籾殻燐炭、元気ゆうき君及びミネラル肥料など、これまでより多くの有機肥料をすき込みました。

ダンブトラックタイプの有機肥料と新型トラクターを使用しての圃場へのすき込み作業 中央写真 **バケツ内の有機肥料**



今年から圃場にすき込んだ有機肥料の内「元気ゆうき君」は鮮魚店等から出る魚のアラやカニの甲羅等に米糠を混ぜ発酵菌を加え高温発酵させ後フルイにかけ、粉末やペレット状に加工された「有機 JAS 規格適合肥料」で柏崎市の仁木賢さんが生産している、最新の有機肥料でお米の食味向上に効果が期待される製品です。

今回春耕転前に圃場にすき込んだ主な有機肥料等

発酵鶏糞50袋

メインマグC 40袋

元気ゆうき君30袋

籾から燐炭80袋



今年も農作業の始めは、富山県保証の従来コシヒカリ種籾を購入し、3/29 から HB-101 入り水に浸水を開始し、4/9 苗箱に種籾播種を行い、芽だし機に入れ4/13 に苗箱をビニールハウスに移動しました。

順調に苗箱の生育を確認し、HB-101 薄め液を2回にわたり5cmに延びた苗に散布しました。

順調に生育している苗箱のコシヒカリ苗

富山県産種籾

HB-101入り水に浸水



H28年5月14～15日恒例の**みどりふれあうフ エステバル**が東京都日比谷公園で開催されます。肝太のブースで皆様のお出でをお待ちしています。

発行者：〒944-0023 新潟県妙高市西条755

妙高西条農園長 池田博子

☎ 0255-72-3497 fax 0255-72-2908

URL : <http://www.kanta.jp> E-mail : ikedata@kanta.jp

苗の活性化促進のためHB-101薄め液を散布しました